

The Exhibition of Shigenaga Yahara



矢原繁長展

— 直観 —

2015年 6.13(土) — 7.18(土)

【場 所】 関西大学博物館特別展示室

【開館時間】 10:00～16:00

【休館日】 日曜・祝日 ただし、6月14日(日)は特別開館
入館無料

関西大学博物館 (関西大学千里山キャンパス簡文館内)

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL.06-6368-1171 FAX.06-6388-9928

矢原繁長展 一直観

本学校友で、詩人で現代美術家である矢原繁長は、1991年第6回吉原治良賞美術コンクール展に入選して以来、1996年ARTEX PARIS招待出品、2001年第11回吉原治良賞美術コンクール展、第10回青木繁記念大賞展、第6回昭和シェル石油現代美術賞展、2002年ピースアートポスター展(ニューヨーク)推薦出品、第7回風の芸術展・トリエンナーレまくらざき、2004年第16回現代日本絵画展、2006年第4回池田満寿夫記念芸術賞、2007年第18回富嶽ビエンナーレなど多数の入選受賞歴を誇ります。

近年の矢原繁長は鉛・鉄などの造形によって「時間」を封印してみせ、「境界線」シリーズにおいては、詩と造形を融合させることで先鋭的に現代と向き合う姿勢を示し、その作品は文学や哲学の領域からも注目を集め、高い評価を得ています。そして今回の「直観」シリーズでは、一貫したコンセプトが導き出す素材へのこだわりが、より一層鮮明になった作品群が提示されています。「現代美術は難解である」との認識を持っている方も多いと思います。ただ、現代美術作品を鑑賞する上では、作家の意図を理解しようとする以前に、観る人が作品から何を感じ、どのように楽しむかということが最も大切なことなのです。

この展覧会は既成概念を打破しようとする作家や作品のエネルギーを感じるとともに、現代美術をより身近に体験できる絶好の機会を与えてくれるでしょう。



関連行事

◆講演会

6月20日(土) 14:00~

「物質：理性と感性の距離」

講師 矢原繁長

参加費無料

先着60名。

①氏名 ②参加人数 ③電話番号 ④住所 を記入の上、FAX またはE-MAILで関西大学博物館にお申込み下さい。ご案内状をお送りいたしますので、当日ご持参下さい。

関西大学博物館 特別展示室

(関西大学千里山キャンパス 簡文館内)

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

TEL/06-6368-1171 FAX/06-6388-9928

E-MAIL/hakubutsukan@ml.kandai.jp

関西大学博物館

検索

